

---

---

## 山梨北中ブロック交流研究会

---

---

テーマ 「小中の連携を深め、山梨北ブロックの児童・生徒の指導に生かす」

### I 主題設定の理由

山梨北中ブロックの児童・生徒を健全に育てるためには、普段交流の機会の少ない小・中の教職員が共有の活動や話し合いを持ち、教育上の課題を見つけ、課題のより良い解決の方法を探り、連携を深めることが必要だと考える。

本ブロックでは、同じ地域で学ぶ子どもたちとともに教育するという立場から、地域に対して共通理解を深める臨地研修や共通する教育課題に対して講師を招いて学び合う学習会を行ってきた。毎年教師としての姿勢や、特別な支援を要する児童・生徒への支援など、小中で共通に学習し合える内容で学習会を行っている。学習会では、児童・生徒の指導に生かせる有意義な内容であったと成果を確認し合うことができた。また、小・中の授業参観や研究会についても継続して行ってきたが、児童・生徒の理解が深まるとともに、発達段階による特性や各校の特色など交流し合うことができ、その意義を実感できたところである。

今年度も、学習会と授業参観・研究会という交流研究により、本ブロックの児童・生徒理解と小・中連携を深め、各校の指導に活かしていきたいと考え、本テーマを設定した。

### II 研究の具体的内容

#### 1. 第1回交流研究会(講演会)

- (1) 目的 子どもの困った行動や問題行動の見方、対処の仕方について専門的な立場からの話を聞き、学習を深め、児童・生徒の指導に役立てる
- (2) 日時 平成27年8月7日(金) 13:30～
- (3) 内容 学習会(講演会)

演題 「子供の困った行動や問題行動の見方、対応の仕方」

講師 山梨北中学校スクールカウンセラー 深沢 孝之先生

・子供の困った行動について、これまでの事例を交えながらわかりやすく説明していただいた。また、参加した先生方に、今困っていることを尋ねながら、現状に合った話をしていただき参考になった。子供の様々な困った行動、問題行動の裏にある子供の気持ちがわかり、今後の指導に生かせるものだった。会場はとても和やかで、質問しやすい雰囲気だった。様々な問題を抱えた子供たちがいる今の学校教育に大変役立つ内容だった。日程が、他の研修等と重なっていたため、欠席する先生方もいて、残念だった。

#### 2. 第2回交流研究会(中学校授業参観)

- (1) 目的 中学校の授業参観を通して生徒の実態や学習活動について知り、研究会における情報交換や懇談を通して、小中の連携を強化し今後の教育活動に生かしていく。

- (2) 日時 平成27年11月11日(水) 15:10～授業参観  
16:10～学年別研究会
- (3) 場所 山梨北中学校
- (4) 内容 山梨北中学校の授業を参観し、情報交換や意見交換を行う。

### 3. 第3回交流研究会(小学校授業参観)

- (1) 目的 小学校の授業参観を通して児童の実態や学習活動について知り、研究会における情報交換や懇談を通して、小中の連携を強化し今後の教育活動に生かしていく。
- (2) 日時 平成28年1月20日(水) 14:00～授業参観  
15:00～研究会
- (3) 場所 日下部小学校・八幡小学校
- (4) 内容 日下部小学校・八幡小学校の授業を参観し、情報交換や意見交換を行う。

## Ⅲ 成果と課題

### 1. 成果

- ・中学校の授業参観や他校の小学校の授業参観を通して、めあてに沿った指導方法や教材準備等を学ぶことができ参考になった。
- ・中学での姿を目標として、小学校で指導しておかなければならない事項を再確認できた。
- ・小中連携のひとつとなり、これからの指導に生かせる。来年度も同じような内容で続けていきたい。
- ・夏季学習会では、専門的な立場からの講義を聞くことができ大変参考となった。今年度はスクールカウンセラーの先生から今日的な課題に関わる講演が聞くことができとても良い取組となった。講演会形式の研究会を年間に1度は持ちたい。
- ・中学校の授業参観をすることで、中学校の学習の様子や進み方がわかり、小学校でどんなことを指導していけばよいか確認することができた。
- ・中学校の授業参観は卒業した児童の様子を知る良い機会ともなっている。中学校には毎年で申し訳ないが、今後も継続してほしい。

### 2. 課題

- ・小中で共通する問題点や課題などをあらかじめ学校ごとに話し合っておき、集まった中で意見交換をする時間も持てると良い。
- ・夏休みの講演会は、別の研修や中学校の関東大会が重なり、参加人数が少なくなってしまった。時期の検討ができれば良いと思う。
- ・小中連携の良い機会なので、小中での各教科の教科書の提示や学習内容の確認などができると小中どちらの授業にも役立てるのではないかと思う。

(ブロック長 丹澤 基予子)